



なかじま保育園



園目標『夢中になって遊ぶ子』

こころも からだも たくまいこ〜2025冬〜

看護師による「1年生になる前講座」では、心臓の音を聴診器を使って聴いています。自分の体にも友達の体にも大切な命があることを知りました。



♪ななくさなすな
唐土のとりが♪



節分の鬼について作ってみたい形を自分で考えてそれぞれ完成させていました。

給食の先生から『だし』の話聞き、かつおぶしを削る体験をしました。意外と力が入る作業でこどもたちは真剣に取り組んでいました。



1歳児クラスには顔をしっかりと見せて豆まきの鬼役になる年長児です。

♪うえか したか まんなか♪



年中児は、友だちと同じイメージを持って遊ぶ事が楽しくなってきます。遊びの中にそれぞれの役割があります。



〜絵本から広がる遊びの世界〜

2歳児は『ぐりとぐら』の絵本が大好きで、園庭にあった小さな穴をみつけた事をきっかけに、ぐりとぐらごっこが始まりました。カステラ作りも忘れていません。



2歳児が登場するオリジナルの紙芝居を年長児が作って読み聞かせてくれています。タイトルは『ちゅうりっぷの冒険』です。



保育士にたくさん読み聞かせをしてもらった0歳児が、こどもたち同士で絵本を見る場面がありました。『だるまさんが・・・どてっ』の真似をして2人で絵本の一場面を面白がっています。



寒い日の戸外遊び前に準備体操をしていたら、こんなに足のばしが上手になっていました。

♪もしもしかめよ かめさんよ♪
お手玉遊び



大好きな歌に合わせて、両手に持って鳴らしているのは、本当は手作りのコマでした。こうやって使うと良い音がすることに気づいたのは1歳児です。



劇ごっこで楽しんだ『おおきなかぶをひっぱるこびとたち』を、洗濯ばさみで再現しているのは、年少児です。

